

くりやま ぎかいだより

No. 162

2020年(令和2年) 2月1日

発行／北海道栗山町議会

お正月に飾ろうね！

土曜授業でしめ縄づくり (2019.11.16)

第8回議会定例会 2

議会活動報告 6

議会報告会のおしらせ 8

6人の議員が一般質問 11

12月定例会

12月10日～12日

¥

補正予算

近隣スキー場利用に伴う補正

251万7千円

歳入歳出の総額にそれぞれ2億3121万6千円を追加し、予算総額をそれぞれ92億7371万5千円としました。

▼スキー授業送迎バス借上料及びリフト利用料

35万6千円

▼スキー指導員仮設休憩所設置

167万円

▼スキー教室送迎・北長沼スキー場試験送迎に伴うバス借上料

49万1千円

▼宮城県角田市災害復旧支援に係るふるさと応援寄附金代理受付

100万円

▼高齢者等に対する暖房燃料費等の経費助成

110万円

▼幼稚園型預かり保育利用者等対象利用給付金

132万7千円

▼学校給食センター給湯用膨張タンク及び排水処理施設修繕

36万2千円

▼継立小学校ボイラー不良部品交換等修繕

92万8千円

▼栗山小学校校庭フェンス一部倒壊に伴う撤去手数料

10万2千円

▼栗山小学校防火扉・防火シャッター感知器取替

231万円

▼ハサンベツ里山地区環境整備

121万1千円

▼ハサンベツ里山計画実行委員会補助金

10万円

▼夕張川水域自然再生協議会補助金

13万円

▼老人福祉施設措置費

402万8千円

その他の補正予算

▼国民健康保険特別会計補正予算

高額療養費の実績見込みによる追加

1200万円

▼北海道介護福祉学校特別会計補正予算

学習環境整備消耗品

5万円

▼介護保険特別会計補正予算

過年度保険料還付金増による追加

19万円

報告

▼一般会計補正予算の専決処分について

台風19号で被災した宮城県角田市（姉妹都市）への支援に関する補正災害支援職員派遣経費

363万2千円

災害見舞金

100万円

ふるさと応援寄附金代理受付分見込額

100万円



角田市の復興へ栗山中学校生徒会も募金活動で支援した

専決処分とは？

議会が議決・決定すべき案件のうち、急を要する案件や議会が議決すべき案件を議決しないときなど、所定の条件下で、町長が議会に代わって決定することを「専決処分」といいます。

今回は、姉妹都市の災害対応という急を要する案件であったため、専決処分されました。

専決処分を行った場合は、直近に開かれる議会で報告し、承認を求めなければなりません。議会の承認が得られなかったとしても、決定は有効となります。



解説

質

疑

齊藤議員 仮設休憩所についてどこまでの範囲で使用できるのか。

教育次長 栗山スキー場の廃止に伴い、授業・講習会・大会で北長沼スキー場を使用するというところで話を進めており、先方のスキー連盟・学校とも話をしている。栗山スキー連盟が活用できるようなものを整備している。あくまでも、指導員の打ち合わせと休憩スペース。必要に応じて、授業中の先生の休憩スペースを想定している。

藤本議員 北長沼スキー場の使用について、調整の経過と継続性の担保は。

教育次長 10月から教育次長と担当主査が相談に行っている。内容は、スキー授業での活用、リフト利用料への配慮、栗山スキー連盟の各種事業

への理解と配慮、休憩所の設置をお願いし、担当段階では認めていただいた。具体的な内容については、今回の補正予算の議決をいただいてから、長沼町と協議を進めている。休憩所の設置は通年で考えている。長沼町の町有地に設置するため占有料（施設使用料）がかかる。

藤本議員 利用料金と仮設休憩所設置の継続性は。

教育次長 リフト利用料は、通常、小学生の1日

券が900円。恵庭市や北広島市等近隣市町の授業利用が500円。南空知は300円となっており、近隣市町の利用料金から更に配慮いただいている。また、スキー連盟指導員やスキー授業に係る先生については無料となっている。施設の使用については、具体的に何年とはなっていないが、1年契約を毎年更新することになると想定される。具体的なことは、今後長沼町と詰めていく。



スキー授業や大会は町外で行われる



人事案件

▼人権擁護委員の推せんについて

令和2年3月31日の任期満了に伴う推せん

土田 清美 氏 松風 4

【任期】

令和2年4月1日～
令和5年3月31日



その他

▼財産の処分について

（株）佳嘉、旧賃貸借地を企業へ売却

【住所】 字旭台

【地目】 宅地

【面積】 1万8468.

94平方メートル

【価格】

5540万6820円

【相手方】

北海道木質バイオマス(株)

質

疑

藤本議員 売却に至った経緯とその後の活用は。

ブランド推進課長 昨年

10月頃、南空知森林組合を通じ、中間土場の設置について打診があった。

取り組みの全容は、空知・石狩管内の森林組合を中心とした協議会で、

山に捨てられてきた製品にならない木の根本・先端等を木質バイオマス発電所の燃料として使用する

ため、それらを集める仕組みづくり。空知・石狩管内に6か所設置する

予定。集められてきた木を破碎しチップにして保管、それを燃料とする発電所に売却する。

事業が安定的に稼働すれば、小規模の発電所を設置し電力を供給することで、エネルギーの「地産地消」を進めていく計画となっている。

12月定例会

12月10日～12日



条例

介護福祉学校の定員削減は

総務教育常任委員会へ付託

▼栗山町立北海道介護福祉学校設置条例の一部を改正する条例

任用職員の給与に関する条例
新制度導入に伴う条例の制定。

北海道介護福祉学校経営改善計画に基づく取り組みとして、現行の募集定員80名2学級を令和3年度の入学者から定員40名1学級に縮減する。

▼災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

臨時職員及び嘱託職員制度を廃止し、会計年度任用職員制度へ移行する。

▼成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

法令の公布による改正。
成年被後見人の人権尊重を目的に、成年被後見人等であることを理由として、その権利が制限されないように各種制度の見直しを行うための整備法が公布されたことに伴う関係条例の改正。

災害援護資金償還金の支払猶予、償還免除の対象範囲拡大等の措置が講じられたため、関係部分の条例を改正する。

▼栗山町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

任用職員の給与に関する条例
新制度導入に伴う条例の制定。

▼栗山町第2号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

任用職員の給与に関する条例
新制度導入に伴う条例の制定。

法令の公布による改正。
成年被後見人の人権尊重を目的に、成年被後見人等であることを理由として、その権利が制限されないように各種制度の見直しを行うための整備法が公布されたことに伴う関係条例の改正。

任用職員の給与に関する条例
新制度導入に伴う条例の制定。

▼栗山町第2号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例



解説

常任委員会へ付託

提案された議案について詳しく検討するため、その内容を担当している常任委員会に議案の審査を託すことを「付託する」と言います。

今回は「北海道介護福祉学校の定員を削減する」として提案された「栗山町立北海道介護福祉学校設置条例の一部を改正する条例」について、担当である総務教育常任委員会へ審査を託すことが決まりました。

質

疑

千葉議員 現在雇用している臨時職員及び嘱託職員は、全員、会計年度任用職員に移行するのか。

現在、雇用している臨時職員及び嘱託職員は、全員、会計年度任用職員に移行するのか。現在の職員で、移行せずに退職する職員はいるか。

総務課長 現在雇用している臨時職員及び嘱託職員については、4月からの制度移行に伴い、希望者は全員雇用する。

千葉議員 国の官製ワーキングプアが問題となり、会計年度任用職員制度ができた。労働者には様々な事情がある。配偶者の扶養手当の範囲で働きたい、所得税のかわらない範囲で働きたい等、個々の事情があるが、そこは把握しているか。

総務課長 現在、新年度予算に向けての準備と併せて個々の要望について把握しているところ。



多くの臨時職員・嘱託職員が働いている



意見書

栗山町における農地整備事業の

促進に関する意見書

【要旨】

本町は、空知管内有数の水田地帯である。

作業機が高性能・高馬力化し、大型化が進む一方で、区画が小さいため、経営規模の拡大を進め、トラクターの旋回作業ロスが作業効率を低下させる等、生産性の向上は見込めない。加えて、近年急速に導入が進んでいる農業のICT利用においても足かせになっている。

また、現在着工している地区以外については、基盤整備完了の目途が立たない状況にある。このままでは、償還金の返済など全体的な農業経営を深慮すると、本町農業にとって農地基盤整備の推

進は喫緊かつ重要な課題である。

農業を基幹とする本町において、担い手は経営を強化し、農業振興をしていかなければならない。

以上のことから道営農地基盤整備事業の実施の要望に当たり、次のことを求める。

- 1 現在実施している4地区の事業の早期完了。
- 2 今後、北海道空知総合振興局に道営農地基盤整備事業の実施の要望を上げている4地区について速やかな採択と着工。
- 3 採択・着工後は、迅速かつ確実な予算措置を講じ、早期完成を求める。



整備された田畑では効率的に作業できる



解説

「意見書」とは？

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた書類のこと。地方自治法第99条で「普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。」と定められています。

今回、議会で決定された意見書は、北海道知事に宛てて提出されます。



解説

賛否の公表

栗山町議会の“あり方”を定めた「議会基本条例」の第4条第6項に「議会は、重要な議案に対する各議員の態度を議会広報で公表する等、議員の活動に対して市民の評価が的確になされるよう情報提供に努めるものとする」と定められています。

「ぎかいだより」では、主に賛否が分かれた議案について、掲載しています。



第8回定例会
賛否の公表 QR

※今回は、賛否が分かれた議案がなかったため、掲載を省略しています。一覧は議会ホームページに載せておりますので、ご覧ください。



賛否の公表

道外政務調査報告



調査先：山口県萩市議会・山口県周南市議会・
山口県下関市議会

日程：令和元年 10 月 23 日～ 25 日

派遣議員：大西勝博・三田源幸・佐藤則男・
鈴木千逸・齊藤義崇・鶴川和彦

町政に関する調査研究を目的とし、道外の先進地視察を行っています。今年度は、公共施設の再配置計画や街のにぎわいプロジェクトなどについて調査研究を行いました。

萩サテライトオフィス 誘致事業について

山口県萩市

目的は地方の人口減少を食い止め、質の高い地元雇用を生み出すこと。地域の空き家や空き施設に都会から IT 関連など遠方で業務を行ってもよいと考えるサービス業の企業を誘致する。

平成 27 年に実証実験がスタート。平成 30 年には進出企業との関係性を深め成果を上げている。

現在、社員の移住・地元雇用を含む萩市グローバル IT 人材育成事業を立ち上げ、IT 企業と連携した「まちおこし」にさらに力を注いでいる。

企業と自治体の距離感を保つことは難しいと思っていたが、目的・利害・制度設計・政策をしっかり組み立てることで、田舎のまちおこしに、特定企業が連携することが特に参考となった。

公共施設再配置政策

山口県周南市

平成 24 年に「(仮称)周南市公共施設再配置計画(案)」を示したが、住民から批難が集中したという。経済的に妥当であっても、行政や議会から慎重に情報提供すべきであると感じた。

その後、一度この提案を取り下げ、翌年に住民の意見も踏まえた「公共施設白書」を作成。平成 28 年から本格的な公共施設政策を実行している。

財源不足や個別施設評価を客観的に金額で示し、施設分類・地域別・長期修繕・長寿命化の 4 つの視点でアクションプランを策定、モデル事業も行うなど、公共施設改革先進自治体で、今後、参考になることが多かった。また住民理解の手法として漫画による政策説明資料に感銘を受けた。

下関駅にぎわい プロジェクト

山口県下関市

下関駅にぎわいプロジェクトの肝は、詳細な事業概要と住民目線の利便性の追求であると感じた。公衆トイレ、商業施設へのアクセス等、設置場所に関する事項が明快に整理され、施設が建てられている。また、新しい提案も盛り込まれており、にぎわいのための政策が成果を上げていると

感じた。

その一環として「創業支援カフェ K A R A S T A」がある。この施設では空き屋もしくはリタイヤする商店と新たに始めたい人とを結びつけ、商店街・市街地を維持している。このカフェ自体が相談所であり、よりどころでもある。無料セミナーも開催されている。にぎわいを失いつつある本町でもこの事業の目的やその手法等、参考にできる点が多くあった。



議会運営委員会先進地視察報告

調査先：三重県鳥羽市・三重県四日市市・

三重地方自治研究センター・愛知県大口町

日程：令和元年11月19日～21日

派遣議員：友成克司・齊藤義崇・土井道子・

三田源幸・千葉清己・鶴川和彦・藤本光行

議会運営に関する調査研究を目的とし、隔年で先進地視察を行っています。今年度は議会におけるICT利活用などについて調査研究を行いました。



議会におけるICTの利活用について

三重県鳥羽市

平成23年に議会フロアをすべて無線LAN化し、議会でタブレット端末等を購入し共用で使用していたところ、個人で所有したいと要望があり、平成24年全議員が政務調査費で契約。現在は政務活動費と私費で2分の1ずつ負担し利用している。

タブレット端末は議案などのペーパーレス化を進めるだけではなく、一般質問をより分かりやすく説明するためのパネルの代わりとして活用されていた。タブレット端末と議場内のモニターを接続し、画像等を映すことができる。

導入成功のポイントの中で「手段を目的化しない」ということが印象に残った。

先進的な議会活動について

三重県四日市市

特に参考になった点は3つある。

一つ目は議会政策研究会の取り組み。各政策に対して分科会を設置。希望する議員がこの分科会に参加し、議論を深め、政策立案機能の向上を目指している。現在18の分科会があり、特に丁寧な議論の必要な取り組みに

三つ目は議員総数34名に対し、事務局は一般職16名・臨時職員2名の18名で組織されていることである。議員2人に1人の計算。



については全体会となる。学校規模等適正化の現状と取り組みについては全体会で議論されている。

二つ目は通年議会・文書質問・タブレット対応など。本町末導入の議会運営手法が実行されていることである。

三つ目は議員総数34名に対し、事務局は一般職16名・臨時職員2名の18名で組織されていることである。議員2人に1人の計算。

議会改革と議会ICTの取組みについて

愛知県大口町

大きく2点について視察を行った。1点目は、議員報酬と議員定数についてである。議長から諮問があり議論が行われた。議長からの諮問内容は、効率的な議会運営ができる定数であるか、町民に理解される報酬であるか、など本町で課題となっていることと合致していた。諮問について、住民への意見聴取やアンケートを実施し、報酬・定数共に維持する答申を出した。

2点目は、議会ICTの取組みについてである。平成30年から施行実施、今年から本施行しており、導入にいたる経緯はもろろのこと、導入後の経費や負担についても、喫緊の情報をおうかがうことができ、有意義な視察となった。

出来事・話題 Topics

ふるさとキャリア 教育体験発表会



11月30日、栗山高等学校体育館でふるさとキャリア教育体験発表会が行われ、藤本光行議員が、議会を身近に感じてもらうためプレゼンテーションを行いました。議会は平成29年から参加。今回は「議会と議員の仕事」と題し、参加者と対話をしながら、条例の決め方や議員の仕事について説明しました。藤本光行議員は「議員はまちのことを決める大切な仕事。しかし、なり手がいなくて困っています。今日参加したみなさんの中から、議員になる人がいることを期待しています。」と話していました。

12月23日、栗山高等学校「くりやま塾」にて講演を行いました。「くりやま塾」はキャリア教育の一環として、栗山町にゆかりのある方を講師に、地域との関わりを再発見し、職業観を育成することを目的として開催されています。

高校生に少しでも議会に興味を持ってもらうため「政治に関心を、政治に参加を」をテーマに鶴川和彦議長、土井道子議員、佐藤功議員、鈴木千逸議員がリレー形式で講演を行いました。講演を聞いた高校生から「私たちが政治に参加することがどういうことなのか知ることができた。来年から選挙権があり、投票の際は今日聞いた講演を思い出し、投票に行きたい」等の感想がありました。

栗山高等学校 くりやま塾



議会モニター 研修会



12月16日、役場第1会議室で「議会モニター研修会」を開催し、議会モニター16名の方にご参加いただきました。研修会では、議会の概要や議会制度、議会運営、政務活動費などを事務局長から説明しました。

説明後の質疑では「議長や委員長は採決に参加しないのか」「政務活動費はどのくらいの議員が使い切っているのか」などの質問に、参加した議員は「議長や委員長は、賛否が同数だったときのみ採決に参加する」「政務活動費を使い切っている議員は半分にも満たない」などと回答していました。

政務活動費の使い方について、参加者から「議員の勉強のために年24万円支給されている。使い切っていない、ということは必要ないということでは。」という意見が出るなど、議論となりました。参加した議員は「1年目は勉強することが多く使い切る議員が多いが、年数が経てば、今までの知識の蓄積があるので、使い切れない年も出てくる。」と回答していました。

議場で語る、
だけじゃない

議会報告会

詳細は次ページをご覧ください

議員は、まちづくりの考えについて議場でしか語らないと思っていませんか？
実はそうではありません。議会で決まったことを伝え、皆さまと意見交換をしたい。
栗山町議会は徹底した情報公開と住民参加を目指しています。

議会報告会日程一覧

皆様のご意見をお聞かせください

町政
議会

◎まちが直面する課題について

(スキー場の廃止、栗山赤十字病院の改築、北海道介護福祉学校の存続、栗山高校の存続)

◎議会が直面する課題について(議員の報酬と定数、なり手問題)

◎議員活動について

A 班	月日	曜日	場所	時間
 千葉清己 議員  大西勝博 議員	2月4日	(火)	南部公民館 (※鶴川議長出席)	午後6時30分
	2月9日	(日)	富士中央公民館	午後1時30分
	2月10日	(月)	鳩山中央公民館	午後1時
	2月10日	(月)	カルチャープラザ「Eki」 (※鶴川議長出席)	午後6時30分
 友成克司 議員  佐藤 功 議員				
B 班	月日	曜日	場所	時間
 三田源幸 議員  齊藤義崇 議員	2月5日	(水)	日出生活館	午後1時
	2月6日	(木)	総合福祉センター「しゃるる」	午後6時30分
	2月9日	(日)	松栄団地集会所	午後1時
	2月10日	(月)	南学田公民館	午前10時
 置田武司 議員				
C 班	月日	曜日	場所	時間
 土井道子 議員  藤本光行 議員	2月3日	(月)	御園公民館	午後1時
	2月5日	(水)	角田農村環境改善センター (※鶴川議長出席)	午後6時30分
	2月7日	(金)	桜山公民館	午後6時30分
	2月10日	(月)	朝日会館	午前10時
 佐藤則男 議員  鈴木千逸 議員				

町政の ここが聞きたい

6 議員が一般質問

齊藤義崇 議員

- ①令和2年度予算の要諦は … P12
- ②旧継立中学校譲渡先決定までの利活用は … P12

鈴木千逸 議員

- ①民間賃貸住宅バリアフリー化支援は
- ②栗山高校の魅力づくり委員会の活動状況は … P13
- ③北海道介護福祉学校の経営改善計画の内容と進捗は … P13

佐藤 功 議員

- ①国民健康保険税保険税 18歳以下の均等割軽減を … P14

佐藤則男 議員

- ①オストメイト対応すべき … P15

千葉清己 議員

- ①病院再編は慎重に議論すべき … P16

土井道子 議員

- ①障がい者に配慮した懇談会実施を … P17



録画配信を行っています！

議会だよりでは、スペースの関係上、要約した質問を1人に対し2問までしか掲載していません。(ページ数の入っていない質問は紹介のみ) 質問の全文や要約が掲載されていない質問については、議会HPの録画配信か会議録をご覧ください。



第8回定例会一般質問
録画配信 QR

Q：令和2年度の要諦は

A：選択と集中の英断をもってあたる

予算編成



齊藤義崇 議員

議員 平成30年度の決算は、実質単年度収支が約5000万円の赤字であった。このことについて監査委員から指摘があったところである。

本町を取り巻く状況は、公共施設の老朽化など課題が山積しており、厳しい財政状況の中、難しいかじ取りが迫られる局面である。そこで、令和2年度予算編成について要諦を伺いたい。

また、補正予算で職員の間外勤務費用が多くみられるが恒常的なならば人員配置を見直して健全な予算執行に改めるべきではないか。

町長 人口減少・地域経済の縮小といった時代背景に加え、5つの大きな町政課題や公共施設の老朽化対策など大きな難問を抱えている。また、財政状況についても基金の取崩しによる予算編成を余儀なくされており、依

然として厳しい状況にある。

このため、予算編成方針の決定に際し、第6次総合計画における重点政策方針の着実な推進はもとより、引き続き、財政調整基金の取崩しによる予算編成が想定されることから、事業の実施方法や国・道の支援制度の掘り起こしなど、創意工夫を凝らした実効性ある予算要求を指示したところである。

各政策の実現につなげていくことが重要であり、選択と集中の英断をもって予算編成にあたるとともに、地方財政対策をはじめ、今後の動向を見極めながら努めてまいりたい。

また、職員の超過勤務については状況を見て適正配置を検討したい。

旧継立中

Q：譲渡先決定までの利活用は

A：今後検討していきたい

議員 継立中学校が閉校から5年経過している。

この間、旧校舎やその敷地の利活用について事業者の募集が行われてきたものの、望ましい結果となっていない。

そこで、旧継立中学校校舎及び敷地について、譲渡先が決まるまで、施設維持の観点からも部活動などで利用してはどうか。今後の展望を伺いたい。

町長 まちづくり懇談会や南部地域振興策に関する地域との懇談会などを

通じ、様々な意見・提言をいただいた結果、民間譲渡が最も効果的な方策であると判断した。これまで、公募以降も民間事業者より問い合わせがあ



旧校舎は現在も手つかずのまま残されている

り、協議を行っているが、現時点まで未利用の状況が続いている。

基本的には、希望する民間業者への移譲を最優先に協議を進めるが、場合によっては要件の見直

しを含めた再公募など、令和2年度中に方向性を見出せるよう取り組んでまいりたい。

民間譲渡が決まるまでの利活用については、今後検討していきたい。



栗山高校

鈴木千逸 議員

Q：魅力づくり委員会の活動状況

A：アンケート結果踏まえ取り組む

議員 高校進学アンケートの結果と栗山高校の魅力づくり委員会の活動の現状について、お尋ねしたい。

町長 今年度7月に、委員会を開催し、議論を進めていく上で、生徒・保護者のニーズを捉えることが重要であると考え、栗山中学校全生徒とその保護者を対象としたアンケートを実施した。

「栗山高校に求める学校像」の設問では、生徒・保護者とも「将来の職業に必要な資格や技能を身に付けられる高校」が約45%を占め、どの学年においても第1位を占めている状況であった。

結果を踏まえ、栗山高校の存在意義を議論の根底とし、栗山独自の持続可能な高校づくりの実現に向けて、栗山高校と連携し、取組を進めてまいりたい。

介護学校

Q：経営改善計画の内容と進捗は

A：定員削減し学生確保進める

再質問

議員 定員削減は消極的な政策ではないか。



町長 介護学校を存続させるための攻めの政策と考えている。これから経営改善していくが、将来について議員の考えは。

議員 定員削減以前に学生確保に心血を注ぐべき。外部からの専門的知見投入について検討すべきと思うかがか。

町長 今後、専門的知見の投入も進めていきたい。学校存続に向けて全力で取り組んでいきたいと考えているので、ご理解いただきたい。



体験入学時の学生による実演

こういう質問もしました

Q：福祉のまち栗山として、民間賃貸住宅へのバリアフリー対策も重要と考えるがいかがか。

A：国や北海道の動向や、町民ニーズ等に注視しながら、必要に応じて検討を行いたい。



解説

「反問」とは？

質問された相手に逆に問いかけることを「反問」と言います。通常、議会では町長や町職員が、議員に対して質問することはできません。栗山町議会では「議会が議論の場であるために、双方質問ができて当たり前」という考え方のもと、町長や町職員が反問できる仕組みになっています。

Q：18歳以下の均等割軽減を

A：措置の創設を要請したい

国保税



佐藤功 議員

議員 高すぎる国民健康保険税が社会問題になっている。国民健康保険税は、応能割（所得割）と応益割（世帯割・均等割）から構成され、市町村（保険者）がそれぞれ税率を決定する。均等割は、被保険者数に応じて、子どもから大人まで所得の有

無にかかわらず、一律に課税されるしくみ。子どもの人数に応じて額が増えることから、少子化が進行するなか、子育て支援に逆行すると批判がある。一方、会社員等が加入する協会けんぽなどは、被保険者の報酬額によって保険料が算定

されるため、子どもの人数が増えても保険料は変わらない。子育て支援の観点から18歳以下の均等割の軽減措置を導入することで、子育て世帯への支援策として取り組むべきであると思うが町長の考えを伺う。



加入者に送付される納税通知書とパンフレット

町長 平成30年4月から国民健康保険の都道府県単位化に伴い、北海道が財政運営の責任主体として、中心的な役割を担うこととなった。18歳以下の均等割軽減措置の導入については、国民健康保険の都道府県単位化に伴う「北海道国民健康保険運営方針」の策定時、同様の意見が出されており、町村会、市長会、知事会においても制度の見直しを要請している所である。本町においても、少子化対策を一層推進する上で、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ることは大変重要と考えており、今後、町村会などを通じて18歳以下の均等割軽減措置の創設について要請したいと考えている。

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



福祉施策

佐藤則男 議員

Q：オストメイト対応すべき

A：他自治体の状況等ふまえ検討

議員 オストメイトとは、大腸、小腸、膀胱など悪性腫瘍疾患等の治療を受け、腹部に排せつのための口を設けた人工肛門、人口膀胱増設者をいい、身体障がい者手帳の交付を受けることができる。目に見えない障がい者とも言われ、括約筋がないことから、便意や尿意を感じることができないため、便や尿をためておくための袋（パウチ）を腹部に装着する。たまった排せつ物は、便器や汚物流しに捨て、パウチや腹部を洗浄し、また装着する。そのため、オストメイト対応のトイレが必要になる。2006年12月にバリアフリー新法が施行された。内閣府による災害時要援護者の避難支援ガイドラインに避難所や福祉避難所にオストメイト支援のストーマ装具の備蓄が指針として盛り込まれている。町長の考えを

町長 ①今後の増設計画について、現在、整備計画はないが、実態把握を行っただうえで「バリアフリー新法」の趣旨を踏まえ検討する。
②町内の多目的トイレの設置状況は町内公共施設は20施設、23か所、町内量販店等は9施設、9か所となっている。
③災害時のストーマ装具の備蓄については国よりストーマ装具の「避難所での給与」「災害救助基金

同う。
①オストメイト対応型トイレを増やすべきと考えるが、その考えや計画は。
②本町における多目的トイレの設置状況は。
③災害時に対するストーマ装具の備蓄状況は。



パウチや腹部を洗うことができる設備がある

による備蓄の推進」「事業団体との物資供給協定の締結」というストーマ装具の備蓄の推進に関する通知が出されている

が、本町ではストーマ装具の備蓄は行っていない。
今後は他自治体の状況、町内のオストメイト

の方々からの意見を聞くなどをしたうえで検討する。

Q：病院再編は慎重に議論すべき

A：保健所と連携し慎重に進める

地域医療



千葉清己 議員

町長 今回の公表については、事前の情報提供もなく、地域住民に不安を与え、医療現場に混乱を招く恐れもあるなど多くの自治体で疑問の声が上がっている」と聞いている。

議員 厚生労働省は本年9月に地域医療構想の具体的対応方針に係る再検証の要請の中で全国の424病院名を公表し、「再編統合について特に議論が必要」とし、2020年9月までに対応策をとるよう求めた。この中には栗山赤十字病院が含まれており、突然の病院名の公表はいかに乱暴な議論ではないか。

具体的対応方針の再検証については、岩見沢保健所が主体となり「数年以内に建替えを予定している病院における将来の役割・機能等の在り方」を重点課題に設定し、南

また、全国一律の基準に診療データの分析がされて地域の実情が加味された公表とはなっていない。10月16日に北海道町村会において地域の実情を踏まえた対応を行うよう「地域医療構想に関する緊急要望」として、厚生労働省、総務省及び道内選出国會議員に対し要請を行った。



病院の再編は新聞でも報道された（北海道新聞提供）

空知構想区域における地域医療構想調整会議において議論される予定となっている。

本町においても「栗山赤十字病院改築等検討委員会」を設置し、病院整備手法についての議論を進めているが、南空知構想区域内の医療提供体制の確保を踏まえ、岩見沢保健所と連携を図りながら、慎重に進めていきたいと考えている。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

栗山町議会

検索





土井道子 議員

広報広聴

Q：障がい者に配慮した懇談会

A：障がい者団体と協議し進める



まちづくり懇談会は公聴機能の一翼を担う

議員 まちづくり懇談会が、令和元年6月と10月、11月にかけて、町内の自治会館等で開かれた。町長も町民も対面で話し合うことは、町政を進めるうえでもっとも重要な機会と考える。

まちづくり懇談会を他の自治体ではどのように紹介しているか検索したところ、神奈川県のある自治体では、集会の開かれた3週間後には質問の内容と首長の回答が会場

ごとに紹介されていた。その場に参加していない住民でも、自分以外の住民が何を望み、首長の考えを時を経ずして知ることができるようは大切なことである。

まちづくり懇談会は、町長および所管担当者たちが多くの時間と労力をかけているコミュニケーションの場である。その場面を有効的に活用するために、町長の見解を伺いたい。

①まちづくり懇談会で配布される資料を事前にホームページで紹介できないか。
②まちづくり懇談会での質疑応答の内容をできるだけ早く町民に公開できないか。
③障がい者（難聴者など）へ配慮した懇談会を工夫できないか。

町長 町民の皆さんと「情報共有」を図り「町民参加」のまちづくりを進め、形をかえ毎年開催。今年度延べ381人の町民の参加。平成25年4月に施行した本町自治の最高規範の「自治基本条例」に、「情報共有」と「町民参加」を自治の基本原則である「まちづくり懇談会」は、重要な場である。

ページで配布資料の事前掲載を実施したいと考える。
②まちづくり懇談会が終了した2、3週間後には、配布した資料と議事録を町のホームページに掲載している。今後も、速やかに懇談会の議事録を作成し可能な限り早く公開したい。
③障がいの有無にかかわらず、多くの皆さんとの意見交換の場を設ける必要がある。障がい者福祉団体等と協議をし、懇談会の実施に向けて検討していく、その際、難聴者への配慮としては、くりやま手話の会との連携・協力を図っていきたいと考える。

再質問

議員 これから議会報告会も実施していくところであるが、その見本となるようなまちづくり懇談会の実施を期待している。



反問！

町長 最後に、ご提言という形で私の考えを述べさせていただきます。

自治基本条例では「町民参加」を大原則とし、まちづくりを進めているが、議会基本条例についても目指すべきところは同じと考える。

議会でもまちづくり懇談会と同様、「町民参加」と「情報発信」を目的とし、議会報告会を行っていることと思う。また、情報を発信する手段として、ホームページ含め町と同様の媒体がある。

議会報告会についても、障がい者への配慮などを行い、より多くの皆さんと意見交換するため、実施については工夫していただきたい。

3月定例会の開会日

3月3日～

議会の予定

2月 3日(月) 令和2年議会報告会
～10日(月) (町内12会場)
2月 28日(金) 議会運営委員会
3月 3日(火) 第1回定例会
～19日(木) (会期中に予算審査特別委員会)
※定例会は9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページで確認ください。



議会に行こう！

傍聴 は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。
会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまぎかいだよりNo.162

2020年(令和2年)2月1日発行

発行/北海道栗山町議会
編集/広報広聴常任委員会
〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/gikai/>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷/山東印刷株式会社



間伐で未来につなぐ北の森

ひとこと

「チャレンジしたい！」

いしやま ようこ

石山 曜子さん(中央2)



おかげさまで「カフェ ふあり」開店から7年の月日が流れました。

私が栗山町民になったのは平成5年のことでした。

継立で子育てできたことは本当に良かったとおもいます。ご近所の方々や学校、PTAの方々、皆さんとてもあたたかい目で見守っていただき、のびのびと育つ子どもたち。

店を始めてからは、お散歩中の保育園の子どもたちに「がんばってください！」と言われた時には心おどりましたし、2018年9月の地震の時には、ご近所の方々からのお声がけにあたたかい気持ちになりました。

まだまだ楽しいことを探して、いろいろなことにチャレンジしてみたいと思います。

表紙の一枚！



みんなでしめ縄づくりに挑戦。
ステキにできたね！

撮影 齊藤義崇
(場所…継立小学校)



広報広聴常任委員会(広報小委員会)

委員長/土井道子 副委員長/佐藤 功

委員/佐藤則男 千葉清己 齊藤義崇 鈴木千逸

ホームページ QR



くわしい情報は栗山町議会ホームページへ！

栗山町議会 検索